

J A 自己改革

ってなくに？

現在、JA 越後おぢやを含む JA グループは、「農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化」を基本目標とした自己改革に取り組んでいます。今号では JA 自己改革の実践状況をご紹介します。



JA 自己改革とは、従来の事業や活動を、農業者や地域住民の夢や願いに沿ってつなぎ合せた上で組み立て直し、農業のさらなる成長と地域の活性化を盛り上げていくものです。(※1)

現在、当JAは以下の具体策を掲げ自己改革実践に取り組んでいます。

目標達成に向けた具体策

① 農業者の所得増大・

農業生産の拡大

・施設利用料低減への取り組み
 カントリーエレベーターの平日受け入れ（コシヒカリ）に対し、利用料金の5割を値引きします。これにより、休日の混雑を緩和しコスト低減を支援します。



▲米集荷をおこなうカントリーエレベーター

・主要肥料の価格低減への取り組み

大量・大型規格の発注、物流コスト低減などに取り組み、主要肥料の予約販売価格の値下げと、主要7品目の値段を平均200円程度下げる支援・奨励策を設定します。

また、出荷に係る段ボールなどの園芸資材や推奨園芸品目（全7品目）の種苗についても奨励策を設定し、コスト低減へ取り組んでいます。

・大口利用奨励への取り組み

肥料・農薬の予約購入された金額に応じて、1割から4割の大口利用奨励をおこないます。

・銘柄誘導対策への取り組み

需要に応じた生産へ向けて、コシヒカリから多品種銘柄誘導対策支援の対象品種を「こしいぶき」としていましたが、今年産より「あきだわら」を新たに加え、銘柄誘導支援を強化します。

・農業機械等整備奨励への取り組み

コンバインの格納整備について、基本作業料金より10割の値引きをおこない、農業生産に必要なコストの低減を支援します。

※1 知って納得JA-協同組合の力— 監修=広島大学 助教 小林 元

※2 カントリー集荷米の食味・品質向上奨励基準数値は品位が1かつ蛋白含有率5.3~5.7%です。

・コシヒカリ食味品質向上、特別栽培米支援への取り組み

県認証コシヒカリの整粒歩合80%以上で蛋白含有率5.3〜5.7%の基準を満たしたものに對して1俵(60kg)あたり税込1,000円(昨年度の奨励は800円)の奨励をおこないます。(※2)

また、県認証特別栽培に取組んでいる生産者への支援として、肥料5品目に



▶食味・品質向上に向けて稲作現地指導会

對し支援策を設定し、コシヒカリの品質・向上へ支援をおこなっています。

・園芸(新規)生産者支援への取り組み

メロンやスイカ、ニンジン、カリフラワーなどの園芸生産へ新規に取組み、JAへ出荷する生産者に對して助成や養液土耕栽培システム等の無償貸与をおこなう他、継続的な作付けで面積を拡大する生産者へも助成をおこなっています。



▶新規就農者の圃場を巡回指導

②地域の活性化

・市内イベントへの参加、後援

市内で開催される各種イベントへ積極的に参加・後援をおこなっています。特に、「おぢやまつり」では、毎年様々なキャラクターを使ったからくり万灯をおはやし隊とともに市内を走らせます。

・食農教育

市内の小中学校等へ水稲苗・野菜苗を無償提供し、栽培方法の指導を職員を派遣する出前授業をおこない食農教育をすすめます。

・ボランティア支援、地域貢献活動

年数回当JA全6支店管内道路のゴミ拾いを役職員一丸となり実施しています。その他にJAのボランティア組織「たんぼの会」を組織し市内の病院や施設でのボランティア活動を支援しています。

以上の具体策を筆頭にJA活動をおこない、「農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化」を基本目標に掲げたJA自己改革達成に向けて、役員一丸となってスピード感を持って取り組んでまいります。



▶昨年のJAのからくり万灯アルビくん

▶市内小学校の田植え体験授業を支援



▶ボランティア活動をおこなうたんぼの会会員

